

平成26年度 予算編成方針のポイント

1 国家財政および地方財政

- < 日本経済 > 持ち直し傾向にあるが、依然として先行き不透明
(^_^) 政府の各種経済対策や円安等を背景として、緩やかな回復傾向
(?_?) 消費税増税による消費の冷え込み、電力供給の制約等の懸念材料あり
- < 国 予 算 > 「経済成長」と「財政健全化」を目指し、メリハリある予算を編成
・「日本再生戦略」等に掲げられた項目へ重点配分
・既存事業は優先順位を洗い直し、無駄を徹底排除
- < 地方財政 > 景気回復の兆しは見られるが、不安定な財源見通し
・歳入(?_?) 税制改正の動向や、地方交付税等の取扱い等、財源確保の見通し不良
・歳出(>_) 社会福祉経費の大幅な増加・過去の市債の償還が増大

2 茨木市の財政状況

- < 現 状 > 厳しいが収支は均衡
・歳入(>_) 緩やかな景気回復により市税収入は増えるが、普通交付税等の増額は見込めず、税等の一般財源は前年度より減額見込み
・歳出(*_*) 公債費は引き続き低い水準
(>_) 少子高齢化により、社会福祉経費は増高
市の発展につながる主要プロジェクト(立命館開学に伴う周辺整備、(仮称)JR総持寺駅の設置等)等に多額の財源が必要
- < 中長期財政収支見通し > 非常に厳しく平成27年度以降から収支不足に
・市税(*_*) 生産年齢人口は減少するが、景気の上昇を見込んで微増
・歳出(>_) 少子高齢化等に伴う社会福祉経費の大幅な増加
主要プロジェクト等に活用した市債の償還費の増加
政策事業の追加に伴い、翌年度以降経常化する経費の増 等

裏面参照

3 予算編成の基本方針

「今」必要なサービスの充実、
「将来」の活力あるまちの推進、
「財政の健全性」の確保、の実現に向けて！！

基本スタンス

- 不透明で厳しい社会経済情勢の中にあっても
- 安全で安心、健やかな市民生活の維持向上
 - まちの発展につながる主要プロジェクトの推進
 - 将来にわたる財政の健全性の確保
を目指し、単年度ではなく将来を見通したメリハリのある
予算を編成する！！

ビルド&スクラップの積極的な実践

通常収支見込みの財源36億円を、見直し目標額3億円を達成することにより39億円とし、政策事業の実施財源32億円、さらなる市民サービスの充実とまちの発展に向けた追加財源枠として「夢いばらき創造枠」を3億円確保しつつ、将来の財政負担の軽減に向け市債抑制に4億円を活用する！！

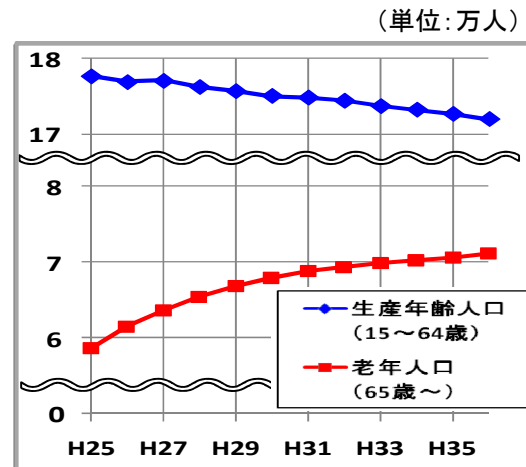
- < ビルド > 政策事業の厳選と追加財源枠の積極的な活用
- ・次年度以降の負担を考慮した事業選択
 - ・政策推進プラン採択事業の事業費及び内容の精査の徹底
 - ・「夢いばらき創造枠」に見合う政策事業について、部内課内の議論のもと立案し、積極的に追加枠を活用
- < スクラップ > 見直し目標3億円の達成に向け、全庁的に取
- ・見直し目標3億円は部別に配分
既存事業を見直すことにより、政策事業の経常化する経費の抑制及び政策事業の追加財源枠を設定

裏面参照

4 中長期財政収支見通し

現行制度による人口推計を基本とした一般会計の将来見通し
 <見通しの前提条件>

- 【人口推計】 右グラフのとおり
- 【市税】 景気動向、生産年齢人口推計、固定資産税の評価替えを反映
- 【譲与税・交付金のうち地方消費税交付金と、臨時財政対策債】
 [消費税交付金] 消費税の段階的増税を反映 (増収)
 [臨時財政対策債] 消費税交付金の増収を反映 (増収)
- 【譲与税・交付金(他)】 H25予算据え置き
- 【地方交付税】 21~22億円を見込む
- 【人件費】 退職者と同数を採用と見込む
- 【社会福祉経費】 高齢者人口・乳幼児数等の推計を反映
- 【公債費】 借入済みの市債の償還予定に、H25以降の市債推計を反映



H25,3,31の人口を出発点とし、過去の人口動態より生存率・社会的移動率・出生率等を考慮した推計

(単位: 億円)

中長期財政見通し	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	...	35年度
----------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------

A 経常事業	①歳入									
	(1) 市税	440	435	439	443	438	443	447	...	451
	(2) 譲与税・交付金 ※1	48	57	69	69	69	69	69	...	69
	(3) 地方交付税	21	22	22	22	22	22	22	...	22
	(4) 市債(臨時財政対策債) ※1	23	14	0	0	0	0	0	...	0
	②歳出									
	(1) 人件費	138	142	139	139	141	140	140	...	143
	(2) 社会福祉経費 ※2	306	312	320	325	330	335	338	...	347
	(3) 公債費	51	48	48	51	50	49	48	...	45
	A 収支 ①-②	36	28	28	25	18	23	25	...	27

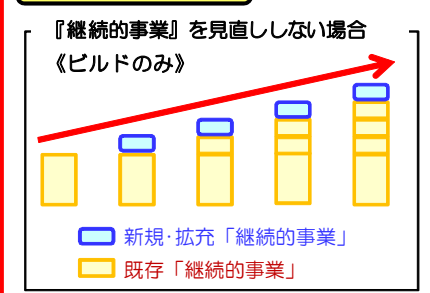
※1 地方消費税交付金が増収する分、臨時財政対策債が減収するものと想定
 ※2 扶助費+繰出金(国保・後期・介護)+後期高齢者療養給付費負担金

B 政策事業	事業費									
	市債	53	44	41	36	24	23	22	...	27
	B 一般財源	32	26	25	25	17	17	16	...	18

C 政策事業により経常化する経費	C1 公債費									
	C2 ソフト事業の新規・拡充経費		3	5	7	9	11	13	...	19

D 総収支 A-B-C1-C2	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	...	35年度
	4	▲2	▲4	▲10	▲14	▲14	▲15	...	▲28

Cのイメージ



ええっ!! 平成27年度から赤字に!! 新たな政策事業が経常化することが原因みたい。どうするの!?

いばら騎士グリーン
ibara-knight-green

5 ビルド&スクラップの積極的な実施

収支改善イメージ

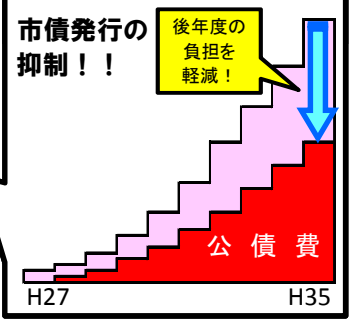
中長期財政見通し	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	...	35年度
D 総収支 A-B-C1-C2	4	▲2	▲4	▲10	▲14	▲14	▲15	...	▲28

収支不足の改善を図るために

E1 経常経費の見直し (H26:3億、H27:3億、H28:3億、H29以降:2億)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	...	35年度
・新規経常事業は、既存の経常経費の見直し財源で実施!!	▲3	▲6	▲9	▲11	▲13	▲15	▲17	...	▲23

E2 起債の抑制 (H26:4億、H27:4億、H28:4億)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	...	35年度
・将来の公債費負担を軽減!!				▲1	▲1	▲1	...	▲1	

F 見直し後の収支 (D-E1-E2)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	...	35年度
	7	4	5	1	0	2	3	...	▲4



収支不足が改善!! ~ビルド&スクラップのイメージ~

いばら騎士レッド
ibara-knight-red

H26予算編成の取り組みイメージ (一般財源ベース)

(単位: 億円)

歳入 539
 歳出 503 (経常収支 36)
 3億円 事業見直し
 ・部別見直し 3億円

政策財源 39
 ソフト 5
 基金 8
 ハード 19
 追加 3
 抑制 4
 ハード事業に必要な市債
 基金取崩

政策事業 32
 夢いばらき創造枠

いばらきの今と未来をまもるため

いばら騎士社!
 市の財政情報発信キャラクター「いばら騎士」

※いばら騎士とは... 「いばらきの今と未来をまもるため!!」を合言葉に結成された騎士団。将来にわたる健全な財政をめざし、さまざまな財政情報を分かりやすく説明します。